

入学してからこの3年間、ICコースで他の学校や他のコースとは違った特別なアクティビティを経験することができました。

今までとは違い、英語で囲まれている環境での学習は私にとってとても難しいものでもあり、大きな挑戦でした。朝のホームルームから英語で始まり、授業ではネイティブティーチャーのもとで毎日絶対的に英語を話す場があるというこのスタイルが、私の英語スキル向上と英語を学ぶ上でのモチベーションとなりました。1年生の頃、ただ英語が好きだから学びたいという思いを抱いて入学した私は、正直ついていけるかとてもプレッシャーでした。私は、特に小さい時から英語を勉強してるとかインターナショナルに通っていたなど特別な環境にいたわけではなく、周りが英語で囲まれていたわけではないので、英語が得意というわけでもありませんでした。ICAのクラスには、発音がとても上手な人がいたり、ネイティブの先生とスラスラ英語で話す人がいたり、英語ができる人達ばかりでした。そんな環境で日々過ごしていくうちにプレッシャーがモチベーションへと徐々に変わり、自分の中の英語に対しての気持ちも強くなっていきました。

1年生の時の一番濃い思い出は、ドラマワークです。初めて演技というものに取り組み、ストーリーやセリフや衣装など、一から全て自分たちで考えて発表するという場がとても印象的でした。クラス全員での取り組みだったため、クラスの団結力が試される機会でもありました。脚本、プロデューサー、キャスト、スタッフ、演出の役割に分かれて一人一人が自分の役割を全うし、最終的にはとても凝った作品をクラス全員で作ることができました。取り組みの過程で意見が食い違うこともあり、なかなか進まないこともありましたが、作品を作り終えた時には、私の中では達成感でいっぱいでした。そしてなにより、ドラマワークを通してクラスの雰囲気が一気に変わったように感じました。クラスの仲も深まり、全員で一つのことに集中して協力して取り組んだことが、私達にとってとてもいい経験となりました。

2年生になるといよいよ、留学がやってきました。慣れない環境で初めて親と離れて生活するというのが私にとってはすごく大きな壁でした。カナダに着いて一週間はホームシックが続き、今すぐにでも日本に帰りたいと思っていました。しかし、カナダの学校に通うようになってからは、他国の留学生や現地のカナディアン、同じ日本人と友達になることができ、そこから私のカナダライフはとても明るいものとなりました。学校に行くことがとても楽しみになり、授業はついていくのに必死でとても緊張しましたが、大好きな友達がいるおかげでどんなことでも乗り越えていくことができました。そして私は、現地校でダンス部を作り上げて他国の人とのコミュニケーションができる場をつくりあげました。自分の英語に自信がない中でも、自分の好きなダンスで色々な人と繋がることができとても楽しかったし、トライしてみて良かったと今でも思っています。この行動力はこれからの人生にも活かしていきたいと思っています。

そして3年生。私が一番印象に残っているのはMUN（模擬国連）です。長い間たくさんの準備期間を得て迎えたからこそ、とても濃い思い出となりました。私は書紀を担当し、色々な国の意見やスピーチなどを管理して書き出すという役割でした。準備期間には、国の旗を一つずつ整理したりMUN本番で使う物を確認したり、たくさん仕事をしました。そして迎えた本番では、最後までトラブルなくやり続けることができました。沢山準備してきたからこそ、達成感がとても大きかったし、なにより他校の人たちとのコミュニケーションの場ともなっ てすごく楽しかったです。

この3年間、私はICAで学ぶことができ良かったなと最近つくづく思います。みんながあたたかく、一人一人個性が強くてとても居心地がいいクラスでした。このクラスとはあと何日かでお別れは悲しいけれど、この3年間で得た知識や経験をもとに、大学でもIC power全開で頑張ります。